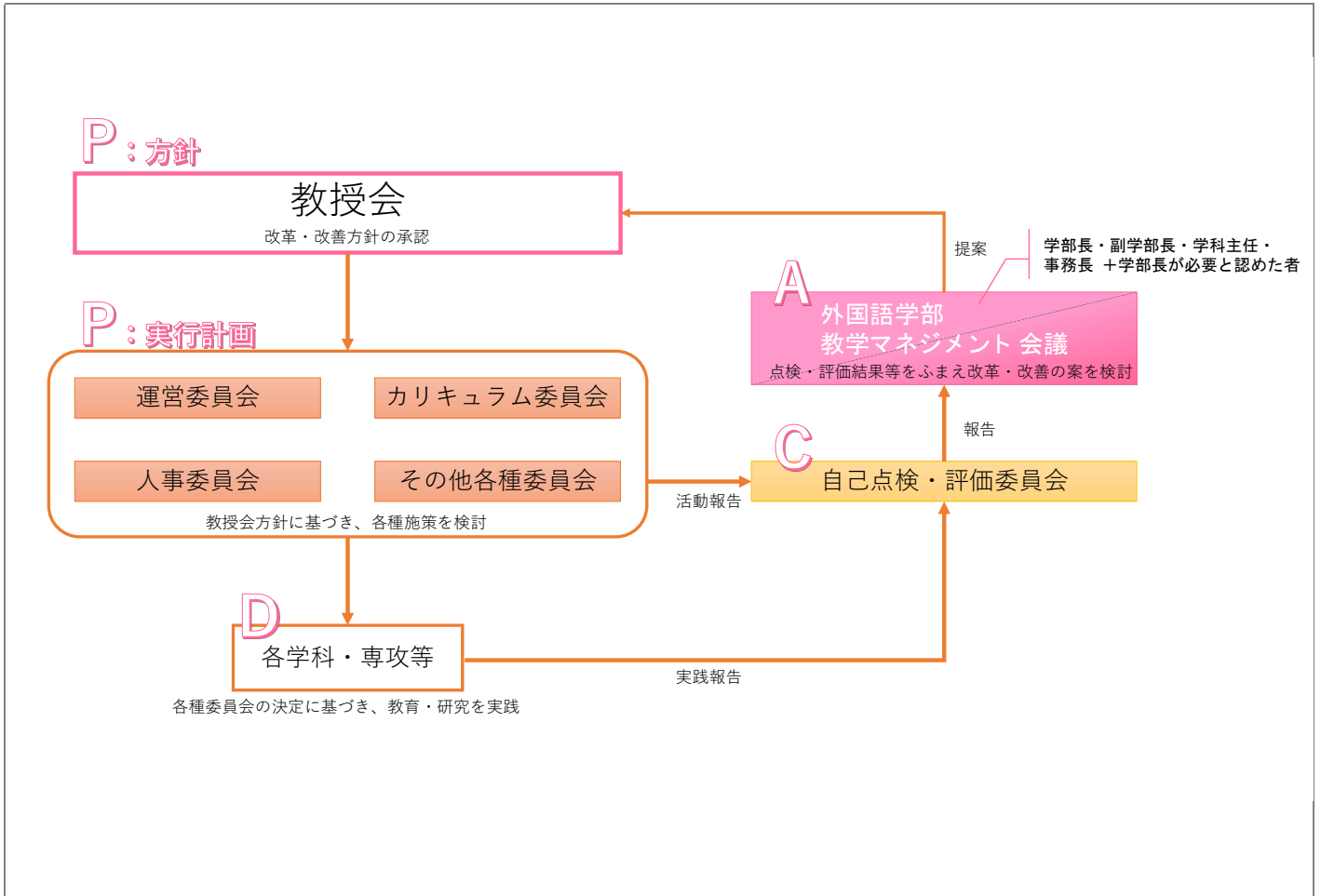


【外国語学部】令和7年度 学部教学マネジメント計画書

3つのポリシーに基づいた学修者本位の教育の実現に向けて、学部教学マネジメントに関する以下の観点について各学部で計画・実行・検証し、次年度以降の改善に繋げることとする。

1. 学部における教学マネジメントの組織体制



2. 体系的かつ組織的な教育課程の編成・実施を支える各ツールの課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題

① カリキュラムマップ

現在検討中の学部改革の方向性を踏まえ、新たなカリキュラムとそれに基づくカリキュラムマップの作成に向けた具体的な検討を行う必要がある。

② シラバス

現在のカリキュラムマップにおける各授業科目の「身につく資質・能力」との整合性の確認を引き続き行うとともに、現在検討中の学部改革の方向性を見据えた各授業科目の見直し、シラバスの精査が必要である。

③ その他 (カリキュラムツリー、ナンバリング等)

特になし

今年度の取り組み

現在検討中の学部改革の方向性を踏まえ、新たな主要授業科目及びアセスメント科目の設定、また、カリキュラムマップ及び各授業科目のシラバスの検討(修正)を行う。

3. 学修成果・教育成果の把握・可視化に向けた今年度の取り組み

課題
PDCA サイクルの「C」における点検・評価の方法として、学修成果実感調査等、学修成果・教育成果を把握・可視化する各種調査結果の活用が不十分であり、これらの活用を検討していく必要がある。
今年度の取り組み
「自己点検・評価委員会」が担うことになっている「C」の具体的な作業内容を明確にするとともに、学修成果実感調査等、学修成果・教育成果を把握・可視化する各種調査結果の具体的な活用方法を検討する。

4. 授業科目の到達目標の達成状況および学生の資質・能力の修得状況から明らかになっている課題およびその改善に向けた今年度の取り組み

課題	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年末の通算 GPA の平均値、中央値がここ数年低下傾向にある。 ・ GPA 標準偏差の数値が高くなる傾向にある。 (教学 IR データより)	
今年度の取り組み	
GPA の低下傾向に加えて、GPA が分散傾向にあることに対応したカリキュラム、授業内容、授業手法等の検討を行う。	
アセスメントプランの取り組み	
アセスメント科目名	検証方法 (在学時)
【英語学科】 ・ Intensive English(A/B/C)IV ・ 英語研究演習IV/English Research SeminarIV	<input type="checkbox"/> 外部アセスメントテスト (GPS アカデミック) <input type="checkbox"/> 学習成果実感調査 <input type="checkbox"/> GPA
【ヨーロッパ言語学科】 ・ 専攻ドイツ語IV/専攻フランス語IV/専攻スペイン語IV/専攻イタリア語IV/専攻ロシア語IV ・ ヨーロッパ言語研究演習IV	<input type="checkbox"/> 在学生調査 (在学生活に関するアンケート)
【アジア言語学科】 ・ 専攻中国語IV/専攻韓国語IV/専攻インドネシア語IV ・ アジア言語研究演習IV	検証方法 (卒業時) <input type="checkbox"/> 卒業研究・卒業論文 <input type="checkbox"/> GPA <input type="checkbox"/> 卒業時調査 (4 年次生調査)
取り組み内容 (「8 つの資質・能力」の達成方法など)	
学部改革を念頭に、社会ニーズに合わせた新たな手法を用いる授業科目の新設や既存科目の改善などを加速させる。	
その他	

※この内容は令和6年度以降、本学における教学マネジメントの一環として、本学 HP への掲載を検討します。